

令和4年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議

開催日時	令和4年7月15日（金） 午後2時00分～午後3時00分	
会議場所	阪南市防災コミュニティセンター6階多目的室	
出席者	会 長	森本 典子 （阪南市みんなの図書館を考える会）
	副 会 長	鈴木 恒一 （生涯学習部学校教育課）
	委 員	後藤田 郁子 （市民公募）
	委 員	頭師 康一郎 （市民公募）
	委 員	井上 和代 （阪南市子ども文庫連絡会）
	委 員	下林 奈央 （鳥取中学校）
	委 員	宮元 早苗 （はあとり幼稚園）
	委 員	隅田 恭子 （石田保育所）
	委 員	中川 智子 （子育て総合支援センター）
	委 員	若野 美幸 （こども未来部こども政策課）
	委 員	佐藤 麻侑 （健康部健康増進課）
	委 員	秋山 秀子 （生涯学習部生涯学習推進室）
	委 員	加藤 靖子 （生涯学習部図書館）
事務局	図書館主幹	森下 喜代子
	図書館総括主事	籠谷 早織
欠席者	委 員	大塚 尚子 （ほんなん子育てネットワーク）
	委 員	東堂 美幸 （子どもNPOはらっぱ）
	委 員	置田 萌香 （阪南市社会福祉協議会）
	委 員	有田 佳乃巳 （下荘小学校）

事務局	<p>令和4年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議を開会する。1件ご報告させていただく。永年阪南市子ども読書活動にご尽力いただいた、泉鳥取高校代表の委員が今年度、異動された。後任の司書は配置されず、2年後には学校が閉校ということもあり、高校からの委員は、欠員で進める。</p> <p>それでは、ここからの議事進行を、会長に願います。</p>
会長	<p>令和4年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議の議事を進める。</p> <p>案件1、新委員の紹介を事務局から願います。</p>
案件1	<p>新委員2名の紹介</p>
案件2	<p>今年度の子ども読書活動推進の取り組みについて 取り組みの報告及び質疑</p>
会長	<p>今年度の取り組みについて、順に報告を願います。</p>
委員	<p>図書館は、昨年9月より自動車文庫を休止していたが、今年4月から軽トラック改造の新車両で、幼稚園や保育所への巡回を開始している。先生方から季節にふさわしい本のリクエストを受け付けたり、本を選ぶ子どもたちのお手伝いをしたりでにぎわっている。巡回している園は、7月現在で、はあとり幼稚園、まい幼稚園、下荘保育所、石田保育所、桃の木の森子ども園、さつき台幼稚園、桃の木台幼稚園であり、8月からは認定こども園飛鳥ゆめ学舎が加わる。</p> <p>小・中学校には、5月から月2回、図書館からの予約本配送を行っている。大量の貸出や返却本がある場合の運搬に重宝されている。</p> <p>夏休みの行事としては、1日図書館員・工作教室・社会体験研修の教員による絵本の読みきかせ等、いずれも3年ぶりに実施予定である。</p> <p>新規企画として、小学生以上を対象に電子図書館の使い方説明会を8月に予定している。</p> <p>新刊児童書展示会は、6月30日に実施済みである。児童書のリサイクルは、8月19日に実施予定で、近々対象の団体にお知らせする。</p>
会長	<p>意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告を願います。</p>
委員	<p>あたごともだち文庫は、今年度よりあたごプラザにふれあい号の巡回があり、文庫で使用する本を20冊借りている。新しい取り組みとして、地域の子どもたちを呼ぶきっかけとなっている。</p> <p>コロナにより来なくなっていた子どもたちが、少しずつ戻ってきている。夏休みの利用を勧めたいが、コロナの増加状況もあり、見送っている。</p>

委員	コロナの感染拡大により、9月まで開かない文庫もあると聞いている。
会長	意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いする。
委員	阪南市みんなの図書館を考える会としては、市立図書館への指定管理者制度導入が決まったこともあり、今後の運営状況を見守り、図書館について、意見交換を行う。
会長	意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いする。
委員	中学校では生徒の本離れが進んでいる。教員も調べ学習の情報収集は、本よりタブレットを活用している。手に取って調べるだけの冊数が集められないため、子どもたちもタブレットを活用している。国語科としては、バランスを考えていかなければいけない。
委員	戦争についての調べ学習は、全校同時に行っているのか。
委員	全校同時に行うとタブレットが停止してしまう。活動は、全校だが時間をずらして、時間割を組んでいる。
委員	図書館の本を使用できるように時間調整をしないのか。
委員	図書室と市立図書館の本を利用しても、1クラス分(50冊)の本は、集まらない。時間帯の中で、子どもたちが本で調べまとめるのは、難しい。
会長	他に意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いする。
委員	幼稚園では、絵本コーナーの充実や読み聞かせの実施を重視している。各幼稚園では、with コロナで保護者の絵本サークル活動が再開している。図書館より月1回ふれあい号の巡回が始まり、子どもたちは楽しみにしている。教師のリクエストに対応してもらっており、市立図書館司書のおすすめセットも、保育に活用している。
委員	幼稚園の本は、古いのではないか。
委員	去年、朝日幼稚園と尾崎幼稚園が閉園になったので、新しい本に入れ替えができています。

委員 市からの予算は、小中学校より少ない。どうして、幼稚園にあてられないのか

委員 市の機構改革により今年4月より幼稚園・保育所は、子ども政策課が担当になったので、私から説明する。十分とはいえないが、大阪府新子育て支援交付金を活用して、図書予算を確保し、充実させていくことを考えている。

会長 他に意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。

委員 保育所の取り組みとして、市民ボランティアの方に読み聞かせを行ってもらっている。下荘保育所・石田保育所の2所とも同じような活動を行っている。月1回ふれあい号の巡回が始まり、子どもたちに大人気である。0歳～5歳までの子どもがいるので来てもらうのは、ありがたい。幼稚園と同様に市立図書館司書のおすすめセットを保育に活用している。

会長 意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。

委員 阪南市おはなしの会は、去年、コロナでおはなし配達ができなかった。今年度は、小学校からの依頼が入っている。

会長 意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。

委員 子育て総合支援センターは、今年4月より子どもNPOはらっぱが業務委託を行っている。5月より開始した、親子教室での絵本の読み聞かせや、絵本を通じて遊びの発展につながるような取り組みを行っている。

子育て総合支援センターに来る親子が「楽しいな」と感じる活動をしていきたい。

7月に開催する夏祭り時には絵本コーナーを設け、読み聞かせや親子向けの本を紹介していきたい。

委員 図書の予算はあるのか。

委員 子どもNPOはらっぱが所蔵する絵本で行う予定である。予算担当ではないため、業務委託の予算内訳は、わからない。

委員 新しいきれいな絵本を揃えるためには、予算の確保が必要である。

委員	<p>運営事業者がかわると、他機関との連携が途切れてしまうこともあるのではないかと。市立図書館や他の機関との連携をきちんとつないでおく必要がある。</p>
委員	<p>子どもNPOはらっぱは、子育て総合支援センターの「おしゃべりサロン」という行事で活動していたので、以前からのつながりはあるし、ウエストバードというグループの方の読み聞かせも、毎月続いている。</p> <p>自分は、舞小学校えほんのへやのメンバーでもあるので、今後ほかの団体の方とも連携を取っていきたい。</p>
会長	<p>意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。</p>
委員	<p>今年度、機構改革により幼稚園・保育所・認定こども園を、こども未来部で取りまとめている。子ども政策課の中では、新子育て支援交付金等を担当している。コロナ禍だが、保育施設は休園しないという方針であり、保育においては、感染防止対策をしっかりとりながら行事を行っていく。</p> <p>今年4月より認定こども園飛鳥ゆめ学舎が開園し、8月にはふれあい号の巡回が開始される。</p>
会長	<p>意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。</p>
委員	<p>保健センターでは、絵本は置いているが古くなっている。</p> <p>事業としては、年3回の両親学級にて、これから出産される方に図書館から絵本を借り、家庭での絵本の取入れ等を紹介している。4カ月健診においても図書館と連携し、ブックスタートにて絵本を1冊差し上げ、絵本の読み方などをレクチャーしてもらっている。</p> <p>健診の待ち時間には、絵本を用意しているが、スマホやタブレットでユーチューブを見ている方が増えている。</p> <p>赤ちゃん訪問（第1子全員）の際、読み聞かせの大切さについて伝えている。</p>
委員	<p>ブックスタートでもらう本について、子どもが2人いるが2人目は、持っている本が多くなる。絵本を選ぶことは、できないのか。</p>

健診の待ち時間に保健センターに置かれている絵本を見るが、更新されていない。前回の会議でも言っているが、いつ改善されるのか。

事務局

NPOブックスタートにおいて、配布できる絵本のラインナップは更新されている。

図書館から持参するブックスタートパックの基本の1冊は『じゃあじゃあびりびり』で、すでに持っている場合は、5～6種類の絵本から選んでいただいている。それらも持っている方に対する予備も持参している。

委員

保健センターの絵本のコーナーは、本を詰め込み過ぎている。表紙を見せて展示するなど、コーナーづくりの工夫をしてもよいのではないかと。

委員

置き場所など、協議していく。

委員

4カ月児健診には、お父さんも来るのか。お父さんが健診に参加することで、育児に巻き込めるのではないかと。

委員

今はコロナの状況より最小人数にしているが、お父さんの参加は増えている。

会長

他に意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。

委員

学校教育課に今年度より異動となった。学校現場の図書とタブレットのよりよい活用方法を考えていきたい。調べ学習において、中学校の先生から話があったように、タブレットの活用が主になっている。しかし、図書の情報も優れている。学校司書の方に研修をする中で、情報を共有している。

情報活用能力・情報集能力が大切である。ICT化が進む中で難しいが、考えていきたい。新しい図書館の在り方を取り入れていきたい。

阪南市の小中学校には、9名の司書が配置されている。

委員

電子書籍の学校での活用は、どうしているのか。

委員

電子書籍は、図書館の本と同様に、1人が借りていると同時に借りることができず、授業での活用が難しい。

委員

子ども読書活動推進計画の各小学校の取り組みについて、「学校図書館専任司書の1校1名配置を進めており、2018年度では上荘小学校、東鳥取小学校、下荘小学校、桃の木台小学校で実現している。」とあるが、全校配置できているのか。

委員	学校によって、学校図書館専任司書の勤務体制が違う。
委員	各学校に毎日、司書はいるのか。
委員	今年度は東鳥取小学校、桃の木台小学校には配置されている。
委員	同じ市内の学校間で、受けるサービスが異なっている。保護者にとっても不安である。
委員	生徒数により、差はあるが、近隣と比べて、阪南市の学校の司書配置は進んでいる。
会長	他に意見・感想等はないか。なければ次の委員、報告をお願いします。
委員	留守家庭児童会においては、指導員による読み聞かせや留守家庭児童会で発行している「ホームだより」で「毎月 23 日は家庭読書の日」のPRを行っている。
会長	意見・感想等はないか。ないようなので、次に進める。
案件 3	第四次阪南市子ども読書活動推進計画の構成について
会長	案件 3 第四次阪南市子ども読書活動推進計画の構成について、事務局から説明をお願いします。
事務局	お手元の第三次子ども読書活動推進計画の冊子をご覧ください。 第 2 章のこれまでの成果と課題、第 3 章の今後の取組みに、第 1 章の基本方針と第 4 章のまとめを加えた構成になっている。 来年度末、令和 6 年 3 月の第四次計画の完成をめざし、構成に関する意見や関係個所について、四次計画らしさを示せる工夫の検討をお願いします。
会長	四次計画の完成まであと 1 年半足らずとなっている。来年度は、会議の回数も増やし、進めていきたい。
案件 4	その他
会長	案件 4 その他 何かないか。

事務局	市立図書館は令和5年4月から、阪南市行財政構造改革プラン（改定版）により、指定管理者制度の導入が決まっており、現在、指定管理者を選定中である。市立図書館の今後についての具体的なことは、次回の会議でお伝えできると思う。この子ども読書活動推進会議の事務局については、来年4月以降は図書館から生涯学習推進室に移る予定である。
会長	他にないか。
会長	それでは、以上をもって、令和4年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議を終了する。
事務局	次回の令和4年度第2回子ども読書活動推進会議は令和5年2月を予定している。